

(2023年4月1日～2024年3月31日)

【事業実施の方針】

1:外国人市民への日本語教育ボランティア 2:日本人へのボランティア育成教室 3:日本文化の理解を促進する文化交流事業、この3本柱を中心に、学習者と「共に学ぶ」姿勢を大切にして、外国人が社会で、生活しやすくなることを目指して活動した。

2:昨年度参加者実数62名が本年倍近くの114名となり、延べ人数昨年は691名が本年は1241名とこれも同じく倍近い人数に激増し支援者も大変であったが極力学習機希望者を受け入れることにした。

3:当方が必ず学習に取り入れている防災教育を、本年度も行った。しかし防災食が口に合わない者が多いうのが課題である。外国人にとっての個人における防災食準備を今後も試食等を入れながら推進し、いざというときの備えにも万全を期して学習支援を行っていく。

【事業実施内容】

1:外国人市民への日本語教育ボランティア

① 子ども支援 浜松市委託事業 日本語学習支援	浜松市内の市立小中学校に在籍する日本語指導の必要な児童生徒に対し、生活言語や学習言語を習得させるために、在籍校にて取り出しや入り込みによる日本語・学習支援を行った。 外国人児童、特に小学新1年生は日本生まれ日本育ちが多くなったが学習についていけない児童が目立った。			
担当エリア	期日	場所	参加人数	
日本語・学習支援 (西・北エリア)	令4年4月～ 令5年3月まで	平日 18校実施	実数 124名	
			基礎 86名	

② 大人支援 浜松市国際交流協会 (HICE) 補助金事業 日本語教室	<ul style="list-style-type: none"> 働いている外国人市民のための日本語教室を週末土曜日夜に33回開催した。 今年度大人クラスには技術派遣の外国人が増加、特にインド人が14カ国参加中40名と大幅に増えた。またベトナム人が減り、インドネシア人は全員研修生だった。 前期1回後期1回計2回の文化交流会が好評である。学習者全員が発言、交流を深めた。2年以上（長い人は3年）学習を続けた上級クラスの人は日本の交通ルールや文化等を後輩達に指南することができ、日本語の流ちょうさにおいてもロールモデルとして活躍できる人が増えた。 			
学習者内訳	期日	場所	参加人数	
韓国3名 中国9名 ドイツ1名 インド40名 ペルー3名 イギリス1名 ベトナム8名 ネパール2名 スリランカ1名 トリニダードトバゴ1名 カンボジア1名 フィリピン12名 インドネシア26名 南アフリカ1名	令4年4月～ 令5年3月まで 年間計33回	浜松市国際交流協会 (HICE) 週末	実数114名 延べ数1241名 計15カ国	

2023年度 貸借対照表

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人日本語教育ボランティア協会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	10,760	
普通預金	1,121,910	
未収金	400,000	
流動資産合計	1,532,670	
2 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計		1,532,670
II 負債の部		
1 流動負債		
未払い金	102,159	
預り金	0	
流動負債合計	102,159	
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		102,159
III 正味財産の部		
1 前期繰越正味財産		1,272,176
2 当期正味財産増減額		158,335
正味財産合計		0
負債及び正味財産合計		1,532,670